

# 平和・環境・健康はひとつ

～八雲立つ出雲から陽が昇る～

人間自然科学研究所メールマガジン



## みなさま

平和を願う「千の灯火」

### 嫁ヶ島万灯会開催

宍道湖に浮かぶ唯一の島「嫁ヶ島（よめがしま）」が、松江市内で初となる国の登録記念物（名勝地関係）に登録されました。その嫁ヶ島を臨む宍道湖岸夕陽スポットで、11月29日（日）、[NPO法人水の都プロジェクト協議会](#)（松本修宗専務理事）の呼びかけで「嫁ヶ島万灯会」が開催されました。

[小松電機産業株式会社](#) [人間自然科学研究所](#) も昨年に続き参加させていただき、継体天皇、ウィリアム・K・バルトン、周藤彌兵衛翁など「全国・世界の水の偉人」171人の名前と功績を記した灯ろうに火を灯し、神秘的な光景が宍道湖岸に広がりました。

昨年は、「[全国世界の水の偉人覚醒顕彰祭](#)」として、太陽ホールでの講演・座談会に続き、宍道湖岸・袖師地藏前で円成寺の若槻住職・長源寺の岸本住職による護摩祈祷を行いました。

継体天皇はおよそ1500年前、福井県の九頭竜川・足羽川・日野川で大規模な治水を行い三大河川の治水事業で湿原の干拓に成功しました。

この度、20年の歳月と2000億円をかけ、国・県の合同九頭竜川下流域・農業用水事業でも、先日、発明協会主催の令和2年度、中国地方発明表彰で中国経済産業局長賞を受賞したクラウド総合水管理システム「やくも水神」の「クラウド型リアルタイム表示」が全面的に使われました。このように、治水事業は、今も昔も、多くの人たちの生活に影響し、恵みをもたらし、命の元となっています。

NPO法人水の都プロジェクトは2010年から「嫁ヶ島」の維持管理に取り組むだけでなく島の歴史教育にも力を入れていらっしゃいます。保全活動を始めて丸10年の節目のこの日「新型コロナで鬱積した心を癒してほしい」と松本修宗専務理事は語っておられました。

人々の心に火を灯し、市民の平和を願うこのような活動をこれからも[小松電機産業株式会社](#) [人間自然科学研究所](#) は支援させていただき、全国世界の水の偉人の顕彰を続けていきます。







万灯会 ダイジェスト動画(1分17秒)



関連動画 (9分12秒)

朝日ニュースター よみがえれニッポン対談番組



# 対立から共生の文化へ

長い歴史問題から生まれた国家間対立、近年では深刻な米中対立、核・スマートフォンの爆発的普及、世界を覆うコロナ禍、とめどもない通貨政策などが重なり、朝鮮半島と日本列島から究極の危機が始まりかねません。

朝鮮半島の対岸、中海・宍道湖圏域で活動を続けてきた人間自然科学研究所は、「天の時・地の利・人の和」を得て、「対立から共生の文化へ」転換する「平和・環境・健康」「宗教・政治・経済」「感激・感動・覚醒」を深く考察、議論、活動を通じて「天命」へと繋がりました。

朝鮮半島対岸に位置する中海・宍道湖圏域は、核大国の中国・ロシア・アメリカの対立と日本・韓国・北朝鮮の対立に国内の地域間・世代間・貧富の差の拡大・国家の統治不全も重なり、社会不安が急速に拡大しています。

このような状況下に、島根原発三号炉の完成を控えています。

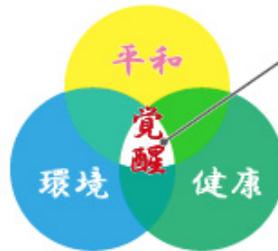
政略(原則)の上位概念の天略(原理)から、**真の地方創生**のストーリーを描くことにより、これに関わる方々の才能が次々と開花し、**真の健康寿命**を賜る流れが始まると信じています。

**平和の定義=戦争の無い状態は言うまでもなく、才能の開花を妨げる社会の文化的・構造的要因も無い状態**

平和は創るものです。平和は、あたりまえのようにこの世に存在するものではありません。人間という生き物の特性を知り、その危うさを自覚するところから学ばなければなりません。

**環境の定義=社会環境(世界的環境・国内人的環境)と、地球の歴史と、人類の長い営みから生まれる自然環境。**

私達は地球をひとつの生命系として連鎖して存在しています。自然破壊、経済優先、効率主義の蔓延による危機が迫り、このままでは人類の悲劇は避けて通れないと思われまます。「豊かさの指標を変える」新しい哲学が必要です。そしてその哲学から生まれる新しい事業こそ私達が担うべき事業です。



**「永遠の命を賜る」**

**健康の定義=肉体及び精神(心と脳)が時間(神)の経過と共に、次々と才能が開花する状態。人類は自然界で関係性が無いと生きていけない生命体。価値観が同じで得意領域が違う3人が語り合う状況が必要とする。三人寄れば文殊の知恵。**

人は何のために生きるのか。私は「楽しく愉快地に天寿を全うしたい」と考えています。そのためには自分の才能が開花して光り輝く状態であり続ける生き方を実践し続けるチカラが大切だと考えます。健康寿命を長くする秘訣はまさに自分の中に眠っている才能を呼び起こし鮮やかに開花させることにあると考えています。

## 編集後記

小松電機産業は今回の嫁ヶ島万灯会への参加をはじめ、さまざまな機会をみつけ社会とのかかわりを深めています。「平和・環境・健康はひとつ」をキーワードにこれから様々な活動が社内外の人々と始まりますが、フランクで自然体のおつき合いは実は日々おこなわれています。太陽ホールでは松江中海倫理法人会例会へ会場の提供や市民集会の会場を探して困っていらっしゃる団体に提供していらっしゃいます。明るくきれいな会場で満足頂いているようで、私も参加させていただく機会がありますが、皆さん明るく本社に入ってこられると社員のみなさんも刺激があるようで楽しく協力されているのが印象的です。

地域と共に企業は存在するという気持ちが一層強くなる瞬間です。

そして太陽ホールには小松電機産業の理念「おもしろ、おかしく、たのしく、ゆかいに」のメッセージが来場のみなさんの目にとまります。生きている心が輝くことばとして、わかりやすく、理解しやすく、普通のことばが掲げられているメッセージの意味に興味を抱いている方々が多いのも事実です。すべての行動が会社・研究所の信頼とファンをつくっていることを忘れてはいけません。

編集人 長谷川泰二



**小松電機産業株式会社**



**人間自然科学研究所**

*Copyright © 2020 Komatsu Electric Industry Co.,Ltd., All rights reserved.*